

## 150歳の誕生日を祝いました



「子どもと祝う150周年」第1弾、誕生祭を6月16日に実施しました。

### 各学年の企画

- 6年 人文字
- 5年 お祝い横断幕
- 4年 体育館の飾り付け
- 3年 くす玉
- 2年 お祝い掲示
- 1年 お祝い掲示

### 誕生会プログラム

- 1 初めの言葉
- 2 校長先生のお話
- 3 児童会長あいさつ
- 4 くす玉割り
- 5 校内かくれんぼ
- 6 人文字記念撮影
- 7 終わりの言葉



1ヶ月ほど前から、どんなふうにお祝いするのかを各学年で話し合い準備しました。会場は、子どもらしい飾りでいっぱいです。3年生が作ったくす玉も見事に割れました。

その後、学校内でかくれんぼ。いったいどこに隠れたのか、なかなか見つかりませんでした。

最後に、6年生が描いてくれた線をたよりに「広谷小150」という人文字を作り、市役所環境推進課の応援を受けて空撮の記念撮影を行いました。

手作り感満載の素晴らしい誕生祭になりました。

## ボルトボルズの爆笑サイエンスショー



150周年第2弾は、松竹芸能からボルトボルズさんをお招きして、ショーを見せていただきました。

今回のテーマは「空気」。普段は見えなくて、なかなか意識できませんが、紐や球や煙をつかって、空気の動きを可視化し、1年生でも十分楽しめる爆笑の60分でした。

コロナ禍の3年間、子どもたちに不自由な思いをさせましたが、その分もプレゼントできたかと思います。

子どもたちは空気砲を受けて大喜び

# 6年生 中学校登校 第1弾



生徒会役員が中学校生活について説明

6月20日(火)、6年生の中学校登校第1回目を実施しました。これは、小中一貫教育の一つとして取り組みが始まりました。

小学校で6年間学んだ児童が、中学校生活にスムーズに馴染んでいくのは大変なことです。中1ギャップと言って、その変化に対応できず学校不適應を起こす子も少なからずおり、不登校の一因ともされています。

そこで、養父市では、6年生の間に年間数回中学校で過ごす「中学校登校」に取り組み始めたのです。これまでの取り組みを振り返ると、児童にとっては貴重な機会になっており、精神的な不安を取り除くためにも大きな成果を上げていることが分かります。

当日は、3校が2クラスに分かれる組編成を行い、ホームルーム、オリエンテーション、数学と国語の授業、部活動見学を実施しました。児童の感想を見ても、不安が少なくなったとの回答が多く、2回目に向けて期待のもてる内容となりました。



漢字の成り立ちについて楽しく学習

いつもとちがう通学方法にだいたい慣れることができた。

中学1年生が、給食の時テキパキしていて、お手本になりとてもカッコよく感じました。

他の学校で積極的に質問している人がいて、見習いたいと思いました。

友だちと話せたのでとても楽しかった。友だちできるのかという前日の不安もなくなり、とてもいい1日でした。

いろいろな人と話して仲良くなり、男女仲良かったと私は思いました。

自然学校で話したことがなかった子も、ゲームの時に話しかけてくれてうれしかった。

## 小中一貫教育の視点 「ノート指導と家庭学習」

養父校区では、上記の中学校登校の他、以下のような取り組みを進めています。

- ① 校区校長会：4校の校長が、小中一貫教育の推進等について協議します。
- ② 学年部会：学年ごとの4部会に分かれ、指導方法等について協議します。
- ③ 専門部会：養護教諭、事務職員、生徒指導の3つの部会で、情報共有を行います。
- ④ 授業研究会：各校持ち回りで、授業公開を行います。本年度は、中学校です。

こうした体制の中、昨年度から小学校の英語、外国語の授業でフォニックスという指導法を共通で取り組み始めました。

また、学年部会ではA「児童の主体的な学びにつなぐノート指導のあり方」とB「発達段階に応じた家庭学習の習慣化」について協議し、各校の実践がより充実するよう取り組みを進めています。